

草野仁さん

[キャスター]

父親が大学の数学教授、母親が中学校の音楽教師という教育者一家で育った草野さん。勉強もさながら、スポーツも得意で遊びも大好きなクラスの人気者として一目置かれる存在だったそうです。そんな草野さんに、教育について思うことを語っていただきました。



人気者でちょっと生意気な「元気もん」の小学生時代

九州の田舎で育ち、四人きょうだいの末っ子だった私は、両親が教師でありながら、小学校時代は勉強が大嫌い。家に帰ってすぐにかばんを放り投げ、真っ先に外に遊びに行くような子どもでした。かけっこは速いし相撲も強い、おまけに勉強もそこそこできましたから、自然とクラスのリーダー的存在になっていましたね。九州の言葉でいうと、まさに「元気もん」でした。

そんな私は、先生方には少し扱いづらい存在だったようです。というのも、教師だった両親が帰宅後に交わす話を聞いて、教師の仕事の舞台裏を知っていたから。両親の「こんなダメな先生がいるんだ」という会話から、「先生って、そんな大したものではないな」と思っていたのですね。

子どもが自分に対してどういう姿勢でいるか、先生は自然とわかるもの。私のことは、言うことを素直に聞かない、ちょっと斜に構えた子どもに映ったのではないのでしょうか。

「先生っていいな」と初めて思えた 恩師との出会い

そんな私が初めて尊敬できる先生と出会ったのは、中学1年のとき。担任の中山先生は当時には珍しいアマチュアカメラマンで、中学校に初めて写真部を創った先生でした。興味をもった私は、さっそく入部して写真の撮影か

ら現像までを本格的に教えてもらいました。

教室でも部活でも、中山先生はいつも心を開いて「どんと来い」と私を迎えてくれました。その姿に、「ああ、先生っていいな」と初めて尊敬の気持ちをもてたのです。

中山先生が再び担任になった3年生のあるとき、先生が、「近年この中学では、高校入試の理科で、満点を取った生徒がいない」という話をされたことがありました。そこで私は手を挙げ「先生、ぼくが満点を取ってみせます」と宣言したのです。

実は私は、小学校時代にこっぴどく怒られたことがきっかけで、理科が大の苦手でした。それでも、言った手前、後には引けません。必死で勉強して、その結果、満点を取ったのです。尊敬する先生を喜ばせたいという、強い信頼関係が力になったのだと思います。

今、縁あって、長崎市科学館の名誉館長兼運営アドバイザーを務めています。日本は科学技術立国ですから、子どもたちに少しでも理科に親しんでもらい、理科離れを防がなくてはなりません。予算は限られていますが、様々な企画を考えるなど、スタッフの皆さんと奮闘中です。

小学生のときには「理科嫌い」だった私が、今こうして理科を通して地元のお役に立つ活動に携わっているのは不思議ですね。「理科を嫌いになるなよ」という、先生からのメッセージかもしれません。

磨けば光る玉を たくさん見つけてほしい

スポーツ放送に長く携わってきましたが、今後は、その経験を生かして、スポーツで活躍した偉人たちを100人取り上げ、彼らの当時の心境などを深く掘り下げるようなインタビュー番組を作りたいと考えています。

それにしても、今の日本人の若い人たちの活躍には目を見張るものがあります。テニスやゴルフ、フィギュアスケート、卓球など、若いうちから才能を伸ばして頭角を現し、世界の頂点を目指す人がたくさん活躍している。昔は日本人がそこまでいくとは、とても考えられませんでした。

スポーツの分野と同様に、学校の学びの場でも、「磨けば光る」玉はたくさんいると思います。先生方には、その光る玉を見つけ、上手に刺激をして、いい方向に導いてほしいですね。

そのためにも、まずは自らが心を開いて構え、子どもを受け止めることが大切だと思います。ベテランの先生方だと、「こうやるのだ」というご自分なりの方法があるかもしれませんが、子どもは一人として同じではありません。たとえまいやり方があったとしても、それが万能だという保証はないのです。なまじっかな方法論だけでは、決してうまくはいかないでしょう。

子どものもつ色々な可能性を考慮に入れながら、一人ひとりの心を理解してほしいと思います。

PROFILE

くさのひとし●1944年満州に生まれ、長崎県島原市で育つ。東京大学卒業後、NHKに入局。ロサンゼルス五輪をはじめ3度の五輪中継に携わり、「ニュースセンター9時」のキャスターを務めるなどスポーツアナウンサーとして活躍。1985年からフリーキャスターとなる。現在「世界ふしぎ発見!」「主治医が見つかる診療所」などのテレビ番組で司会を務めるほか、講演活動も積極的に行う。故郷の長崎市科学館では名誉館長を務めている。近著に「話す力」「老い駆ける!人生」など。

子ども一人ひとりの心を受け止め 才能を輝かせる方向に導いてください